

2014年10月24日

各 位

東京都港区虎ノ門2丁目7番5号  
株式会社アスコエパートナーズ  
代表取締役社長 安井秀行

お問合せ：アスコエパートナーズ あらお 荒尾

電 話 03-6206-6482

メール town@asukoe.org

## 「子育てタウンプロジェクト」が新しくなります！

### スマートフォンアプリプラットフォームを開設

#### ～ 自治体子育て支援情報データベース構築を官民連携事業で実現 ～

行政サービス情報データベース構築事業を行う株式会社アスコエパートナーズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:安井秀行)は、妊娠・出産・子育ての行政サービスを利用者の状況に合わせて通知できるスマートフォンアプリの情報発信プラットフォームを新たに開設します。アプリプラットフォーム利用の対象は全国自治体で、自治体ごとに多様な子育て世帯の実情を踏まえた、きめ細かな情報発信を可能にする情報提供ツールとしてご活用いただけます。

「子育てタウンプロジェクト(通称ママフレ)」は自治体の子育て情報発信に関する官民連携事業として2012年より神戸市にてスタートしました。自治体サイトだけではわかりづらい子育て支援情報を「ユニバーサルメニュー®」によりわかりやすく情報整理し、子育てに特化したWEBサイトを構築。導入実績は現在全国80自治体を超えています。

2012年の導入以来、自治体の皆様にご好評いただいた子育てタウンを、今回、利用者の皆様の声を、そして自治体様からのリクエストも加味して、新しいアプリサービスを開始することに致しました。

本アプリは、今までの子育てタウンWEBサイトだけでは実現できなかった自治体からの積極的な情報発信を可能にし、自治体と住民をインタラクティブに繋ぐ仕組みの第一歩として位置付けています。自治体から子育て世帯それぞれの状況に合わせた、積極的な情報発信を可能とすることで自治体と住民を密接に繋げ、より良い子育て環境を創出することを目的としています。

具体的には、プッシュ・メール配信によるタイムリーな通知や、地域や子どもの年齢など世帯の状況にあわせた情報発信が可能となりいち早く子育て世帯へ必要な情報を届けることが可能となります。さらにマイページ、施設予約などに拡張できるプラットフォームとしても活用が可能です。

子育て世帯はアプリをAppStore、Google Playから入手可能です(11月より段階的にリリース予定)。

運営費の一部を官民連携事業として企業協賛によりコストダウンし自治体の費用負担を抑えます。

アプリは今後、オープンデータ活用や決済、マイページなどの機能充実などを通じ、行政サービス活用のプラットフォーム（m-Government）としての利活用を目指しています。

本アプリは、市、町、村全ての自治体を対象とし、弊社アスコエパートナーズと、今回新たに事業提携をした株式会社ぎょうせい（本社：東京都江東区、代表取締役社長：澤田裕二郎）より、有償にてWEBプラットフォームをご提供いたします。株式会社ぎょうせいの持つ法令システムにより、来春から本格施行される「子ども・子育て支援新制度」への対応もスムーズです。

これらの全国自治体で使えるプラットフォームを活用し、また官民連携によりコストダウンすることで、従来の自治体ごとの開発では実現できなかった、開発コストを抑えた導入が可能となります。

なお、今回のアプリプラットフォームの導入に伴い、2012年より開始いたしましたWEBサイトのみの無償対応サービスは原則終了させていただきます（すでに子育てタウンプロジェクトへご参画いただいている自治体様へのサービスは変更ございません）。

#### 【自治体向け行政情報発信ツール「子育てタウンプロジェクト」について】

- ・ アプリプラットフォームは「子育てタウンプロジェクト」の一環として、現在約 80 自治体の子育てタウン導入実績を元に開発されました。
- ・ 当プロジェクトは、妊娠・出産から就学前までの子育てに関連する行政サービス専門の、Web 媒体と紙媒体のミックスメディアで情報発信を行う官民連携の取り組みです。
- ・ 紙から Web への流れが進む中、自治体の広報では「紙も Web も」という対応を続けざるを得なくなっています。そこで子育てタウンでは、出産時に重要な役割をもつ母子健康手帳などの「紙媒体」と、現在の子育て世代に身近な「Web 媒体」を接続。当社『メディアブリッジ』（特許出願中）機能を活用し、メディアを越えた子育て世帯への情報発信を実現します。
- ・ 子育て世代に身近なネットでの情報収集と Web サイト上の各種機能を組み合わせ、リアルな行政制度の利用へ結びつける新しい手法の確立を目指しています。

#### <子育てタウンの行政メニューについて>

- ・ 行政サービス情報を自治体 Web サイトの標準メニュー体系「ユニバーサルメニュー®」に基づき整理しています。これにより子育て世帯にとって行政サービスが今以上に見つけやすくなり、自治体にとっては提供情報の漏れや重複に気がつきやすくなる見込みです。
- ・ 行政サービスの記述には、「ユニバーサルメニュー®」の考え方にに基づき、行政専門用語や難しい言葉をなるべく使わないよう配慮しています。これにより子育て世帯にとって行政サービスが今以上に、分かりやすく、利用しやすいものになる見込みです。（参考資料 1 参照）
- ・ PC・スマートフォンからの閲覧に適した画面構成を「レスポンシブ Web デザイン」により実現しています。
- ・ オプションとして、施設設備、保育所、赤ちゃんの駅などの検索機能や多言語対応なども実装可能です。

以下、参考資料（1 枚）あり

## 参考資料1 【アスコエパートナーズのユニバーサルメニュー関連事業について】

### 【アスコエパートナーズの取組み：ユニバーサルメニューの普及について】

アスコエパートナーズは、様々な人が様々な場面で、それぞれの目的に応じて、それぞれに合った手段で行政サービス情報を活用できる生活を実現するため、「ユニバーサルメニュー<sup>®</sup>」を活用した様々なネット関連事業を展開しています。

特に ePPP (e-Private Public Partnership：ネット上での官民連携) としての取組みを軸に、官民の枠を越えた情報提供を進めています。

\* 株式会社アスコエパートナーズ

<http://www.asukoepartners.co.jp/>

### 【「ユニバーサルメニュー<sup>®</sup>」について】

ユニバーサルメニュー<sup>®</sup>とは、NPO 団体アスコエが開発し、一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会が運営している行政サービス向け標準メニュー体系です。

子育てや教育、就職、住まいなどに関する様々な行政サービスを、子育て世帯にとってわかりやすく提供し、また自治体にとってはサイト構築・運用の効率化を実現します。

すでに、神戸市・大阪市・千葉市などの子育てタウンプロジェクト参加自治体を始め、東京都葛飾区、仙台市、福島市、神戸市、経済産業省などで採用されています。

\* 「ユニバーサルメニュー」「Universal Menu」は登録商標です。

\* ユニバーサルメニューについて NPO 団体アスコエ

<http://www.asukoe.org/>

\* 一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会

<http://universalmenu.org/>

\* 「子育てタウン」参加自治体一覧

<http://www.asukoepartners.co.jp/service/eppp.html#kosodatetown>